

事務事業名	集落営農体制強化スピードアップ事業補助金		所属部	農林振興部	所属課	農政課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	担い手支援G	課長名 細木浩之
	施策名	(34)農業の振興		担当者名	山本泰司	電話番号 0854-40-1051 (内線) 2414
	目的・対象	市内の農家	意図 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	0:1:3:0:0:2 農業振興事業
	目的・対象	農家・市民	意図 農業の担い手になる。		項 目 中事業 中事業名	0:5:2:5:8:9 集落営農体制強化スピードアップ事業補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
集落営農法人	農業生産の維持と集落環境の維持向上。 営農コストの削減により、継続的に営農が実施され、農地の荒廃を防ぐ。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H19 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	県単独補助事業を活用して、新規設立法人への機械設備助成や広域連携組織の育成・活動に対して支援する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 以下の1団体の取組に対して助成した。 <input checked="" type="checkbox"/> (農)すがや コンバイン1台	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 担い手不在地域における集落営農の組織化と集落を越えたサポート体制の構築による担い手不在地域の解消や地域貢献活動の取組支援を行うとともに、後継者確保に向けた人材育成、経営の多角化など農業・農村の活性化を図っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 協業経営型以上の経営体組織	組織	34	34	35	35
イ 集落営農法人数	組織	25	25	25	25
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
			千円	千円	千円	千円
(農)すがや コンバイン1台 補助金交付額: 2,000千円	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	10,138	4,771	2,000	9,131
		地方債				
		その他				
		一般財源	2,593			
	事業費計	千円	12,731	4,771	2,000	9,131

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	担い手への助成を通じて経営体の経営発展に寄与した。
② 事業実施するうえでの課題	県の補助対象となる担い手支援は各関係機関が連携して行なっているが、年々要望が増えている。今後細かい部分までの支援が出来なくなる可能性がある。また、専門的知識も必要になり、現状を踏まえ応用する力が求められている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	県の補助事業のため、今後も集落営農組織の支援施策として活用し、営農コストの削減による継続的な営農を促し、農地の保全機能や集落維持の強化を図る必要がある。